

【天国への手紙 6月24日放送原稿】

ラジオネーム：ムーンストーン

同じ歳の従弟のあなたへ

旅立ってから5回目のお誕生日ですね。おめでとうござります。

あなたがいなくなってからは、連休ごとに函館に帰って、

おじさんの家に泊まらせてもらって、

仏壇にいるおばさんとあなたにお参りしているよ。

あなたが活躍する姿をもっと見たかった。

新聞の記事やテレビのニュースに出るたび

「これ、私の従弟なんだよ」と自慢できるのが誇りしかったです。

今年のお正月にみんなが集まった時、

結構お酒も入って楽しく話をしていた中で

おじさん、仏壇の前で泣いていたよ。

きれいな冬の空を見て、

「お前、どこで何をしてるかのー」と涙を流していました。

どこを探してもあなたはいないのでね。

「もう、絶対に会えないんだな」と5年目の正月に

改めて思い知らされた気がしました。

亡くなる直前、ベッドの上で泣きながら笑ったよね。

あの笑顔は本心でしたか？それとも強がり？

今でも時々気になるし、でもそれ以来

「人の死」がとても身近になり、怖さがなくなりました。

あなた自身も病院での最期は怖くなかったのかなとも思います。

そちらでは、おばさんには会えたかな？

あなたが制作した作品と一緒に見て、褒めてもらっているのかな。

“母親に甘える”ということが出来ていたなら私も嬉しいです。

もうすぐ誕生日ですね。何をお供えしようか。

仏壇から下ろしてやすめて、おじさんが食べられる甘い物がいいよね。

でも半分は私がもらって帰るようになるかしら、

今年もきつと、私の好きなものになると思いますよ。

リクエスト曲

() そんなにロシに騙されて / 高田みづえ ()